

“貧困の連鎖”が深刻化するほど問われる、それぞれの食の自立、 とりわけ「食事づくり力」とは？ その形成とは？

●基調講演： 「子ども・家族・地域の“貧困”と食」

講師 村山伸子

新潟県立大学教授（公衆栄養学）、博士(保健学)

平成 24-26 年度厚労科学研究事業「日本人の食生活の内容を規定する
社会経済的要因に関する実証的研究」研究代表者

●シンポジウム（基調講演者を交えて）

発言 1: “食事をつくらない、つくれなない”の根元にあること

—保健センターの現場から

宮野由紀

狭山市保健センター主幹、管理栄養士

発言 2: 生活者としての自立につながる「食事づくり力」とは

—子ども主体の地域活動から

平本福子

宮城学院女子大学教授(調理教育学)、博士(栄養学)・管理栄養士

座長 足立己幸

女子栄養大学名誉教授・名古屋学芸大学名誉教授(食生態学・食教育学)
保健学博士・管理栄養士

NPO 法人食生態学実践フォーラム理事長

●日 時: 2016 年 6 月 5 日(日)14:00~16:00

●会 場: 日本女子大学 新泉山館

JR 山手線目白駅から徒歩約 15 分/日本女子大学行バス約 5 分
東京メトロ有楽町線護国寺駅(4 番出口)から徒歩約 10 分
東京メトロ副都心線雑司が谷駅(3 番出口)から徒歩約 10 分

「人間らしい食の営み」の一つは、「作って、食べる。食べるために作る。これらの双方向性」といわれています。近年、ライフスタイルや食環境の多様化が急速に進む中、「作る」と「食べる」の乖離、その連鎖(行動・活動間の連鎖や親子・世代間の連鎖)が加速し、さまざまな問題を起こしています。

今年の総会研修会ではぜひこの問題を「食事をつくる力」側からとりあげます。まず、現状を直視すること。そして「食べる行動」の理論等を下敷きを持ちながら、課題やその解決方法や自分たちの役割について考えたいと思います。人間、食物、地域や環境に関わる多様な課題をもつ多くの人々の参加・共有をお願いいたします。

◎ なお、参加の方は「食生態学—実践と研究」第 9 号を熟読の上、本誌をご持参ください。

【参加費】 会員・無料、非会員 2,000 円、学生非会員 500 円(授業等で参加の場合はご相談ください)

【申込方法】 申込用紙にご記入のうえ、メール又は FAX でお申し込みください。

<主催> NPO 法人 食生態学実践フォーラム

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-16-10 コーポ小野 202

Tel & Fax: 03-5925-3780

E-mail: forum0314@angel.ocn.ne.jp

申込み締めきり 5/23(月)

6月5日(日) NPO 法人 食生態学実践フォーラム研修会
“貧困の連鎖”が深刻化するほど問われる、それぞれの食の自立、
とりわけ「食事づくり力」とは？ その形成とは？

6/5 NPO 法人 食生態学実践フォーラム研修会(14:00~16:00)に出席します。

賛助会員 法人賛助会員 学生会員 非会員 学生非会員

氏 名(フリガナ)

連絡先住所 〒

TEL

FAX

E-mail